



2021年11月15日

各 位

会 社 名 株式会社イー・ロジット
代表者名 代表取締役社長 角井 亮一
(コード番号：9327 東証JASDAQ)
問合せ先 特任役員 コーポレート管理部
経営企画課長 竹内 浩太
(TEL. 03-3253-1600)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 通期業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 13,575	百万円 323	百万円 325	百万円 197	円 銭 57.60
今回修正予想 (B)	11,720	△292	△286	△368	△82.32
増減額 (B-A)	△1,854	△616	△612	△526	
増減率 (%)	△13.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	10,696	238	241	151	53.80

2. 修正の理由

2022年3月期の通期業績予想につきましては、既存顧客の出荷数量の伸長は前期と同水準で推移するとの前提で計画しておりました。新規顧客の獲得は概ね計画通りの見込みであるものの、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により一部の既存顧客において出荷数量は当初の前提よりも下回り、出荷作業料収入が減少しております。加えて家庭内で快適に過ごすための商品を取り扱う一部の顧客において、緊急事態宣言解除を見込んだ巣ごもり需要の反動減が2021年8月より見られたことにより、売上高につきましては11,720百万円（前期比9.6%増）となる見込みとなりました。

利益面につきましても、売上高が前回公表数値を下回る見込みであることから、2021年6月の埼玉草加フルフィルメントセンターの新規開設費用と賃借料及びこれに伴う人件費等の増加を吸収できず、営業利益、経常利益、当期純利益は当初予想を下回る見込みとなりました。

このような状況を勘案し、2022年3月期の通期業績予想を上記のとおり修正いたしました。

なお、当社は株主還元を重要な経営課題の一つとして考えており、安定的かつ継続的な配当の実施を基本方針としたうえで、経営成績及び財務状況等を総合的に勘案した配当の実施に努めることとしております。2022年3月期の期末配当予想につきましては、決定次第お知らせいたします。

(注) 上記の予想数値は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上